

岐阜大学医学部附属病院 広報誌

うぶね  
ubune

Take free

60

2025年10月発行

特集

# 新生・高次救命治療センター 始動。

- クローズアップ!
- 新任紹介
- 管理栄養士のけんこう食卓
- 自宅でカンタン!健康体操
- Q&Aコラム ○○って何?





岐阜県の救急医療を支える最後の砦

# 新生！高次救命治療センター

命をつなぎ、  
未来へつなぐ



## 初療から退院まで一貫通貫体制 個の力が組織の底力につながる

岐阜大学医学部附属病院の高次救命治療センターは、県内唯一の「独立型救命センター」です。多くの病院の救急診療体制はER型（救急外来型）と呼ばれ、救急外来で初期診療までを担い、その後重症患者さんは専門診療科へ入院します。一方、当センターは「全てをここで完結できる」ことが最大の強み。救急外来での初療から手術、集中治療、そして退院に至るまでを一貫して担える体制です。ほぼ満床に近い状況の中でも最重症の患者さんを受け入れ、医療資源を集中させる運用を徹底しています。

この独立型センターを支えているのが、5つの専門部門です。それぞれが高い専門性を発揮しながら一つの組織の中で結びつくことで、命を救う現場がより確かなものになっていくと信じています。また、若手医師の増加と組織の活性化も大きな特徴です。ここ数年、多くの優秀な若手が集まってくれたことで組織の若返りが進んでいます。若手育成の基本方針は「個の力を伸ばす」こと。救急

医としての基礎をしっかり学んだうえで、各人の希望に応じて専門領域を選択できる体制を整えています。若手医師らが自発的に挑戦できる環境をつくることこそ、組織全体の底力につながると考えています。

## IC開通で地域とつながる その数分が救命率を左右する

救命医療は、センターの中だけで完結するものではありません。救急車やドクターヘリによる搬送が適切に行われてこそ、救命の可能性は大きく高まります。今春、東海環状自動車道の岐阜ICが開通し、救急車で30分以内に到達できる地域が大幅に広がりました。遠方からの搬送では特にドクターヘリが力を発揮しますが、日没後や悪天候では出動できないなどの制約があります。高速道路の開通によって、そのような場面でも迅速かつ安全な搬送が可能になっただけでなく、救急車の役割が広がったことで、ドクターヘリがより重症度の高い傷病者や遠隔地からの搬送に集中できるようになりました。重症外傷では、わずかな時間の遅れが救命率

岐阜大学医学部附属病院の高次救命治療センターは、県内で唯一の独立型救命センターです。救急外来での初療から手術、集中治療、退院後の生活を見据えた支援まで、命に直結する治療を一貫して担います。救急車やドクターヘリで運ばれてくる最重症の患者さんを受け入れ、「救える命を救う」ために、5つの部門が連携し日々全力を尽くしています。



独立型体制と多職種連携で  
尊い命を守り抜く

を60%から40%に下げてもあります。だからこそ、地域全体で搬送体制を整えることが極めて重要です。当センターは県内にある20の消防本部と密に連携し、迅速かつ適切な搬送体制を築いています。

また、災害派遣医療チーム（DMAT）の活動も重要な任務の一つです。今後予想される南海トラフ地震に向けては、派遣だけでなく受け入れ体制の構築も重要。被災地から多数の重症患者が搬送されてきた際に病院間で資源をどう分け合い、どのように連携するかが大きな課題となります。災害医療は一つの病院だけでは対応できません。県や周辺地域、さらには全国規模でのネットワークを意識し、資源を把握して適切に振り分ける。そのハブとして、私たちは自らの責任を果たしていく必要があります。

## 小さな当たり前の積み重ねが 強いチームをつくり、命をつなぐ

患者さんの救命は、医師個人の力だけで成り立つものではありません。通報する人がいて、消防や救急隊がいて、病院に受け入れるチームがいて、初めて命がつな

がります。救命とは多くの人のパトンの受け渡しによるものだと、私たちは日々実感しています。だからこそ、「当たり前のことを当たり前やる」という姿勢が最も大切です。その積み重ねこそが、大きな成果につながります。「全は個にして、個は全なり、個は孤にあらず」という言葉があります。個人の成長はそのまま組織全体の強化につながり、組織の力はまた個を支えます。こうした信念を原点に、岐阜県の救命医療を支え、未来を切り拓く存在であり続けたいと考えています。



高次救命治療センター長 岡田 英志 先生  
岐阜大学大学院医学系研究科 救急・災害医学分野 教授（2025年7月1日より就任）



# 岐阜の救命を支える、 5つの部門



## チームと戦略でつなぐ救命の最前線

救急部門は、搬送された患者さんを受け入れる場です。他院では対応が難しい重篤な患者さんや、重症外傷患者の救命にも挑んでいます。出血性ショックに対する緊急輸血やダメージコントロール手術、動脈塞栓術など、高度な治療を駆使して命をつないでいます。各職種と協働し、チームで戦略を共有することで、10分以内の緊急手術にも対応できる体制を整えています。

救急部門長  
福田 哲也先生 併任講師



## 院内・院外の重症患者さんを受け入れる、手厚い治療体制

大手術後や一般病棟では対応が難しい呼吸・循環管理が必要な患者さんに、集中的な治療を行う部門で、当院ICUは「特定集中治療室管理料1」の厳しい基準を満たしています。セミクローズ制※を採用し、幅広く総合的な治療を行います。大切なのは「どう生きたいか」という思い。患者さんの希望を尊重した治療を心がけています。

※セミクローズ制…集中治療医と主治医がともに関わり、協力して治療を進める仕組み

集中治療部門長  
北川 雄一郎先生 併任講師



## 急性期から慢性期まで、透析のプロフェッショナルチーム

急性腎障害や中毒、敗血症、多臓器不全など、重症患者さんに不可欠な急性血液浄化療法を担っています。ICUなどでの対応に加え、透析室では慢性腎不全を持つ方の維持透析も管理。24時間365日、急性期血液浄化療法を提供できる体制を確立しており、在籍している臨床工学技士は20名。機を逃さず治療できることが最大の強みです。

血液浄化治療部門長  
鈴木 浩大先生 特任准教授



## 現場に駆けつけ、命を運ぶ医療の翼

病院の外へ飛び出し、重篤な患者さんにいち早く対応する「病院前診療」を担います。現場で治療を開始し、その内容を病院に共有して搬送することで、救急外来から手術・集中治療までシームレスにつなげる、その初動を支えるのが私たちの役割です。近くでドクターヘリの音を聞いたときはあまり近付かず、ぜひ遠くから見守っていただければ幸いです。

ドクターヘリ・ドクターカー部門長  
三浦 智孝先生 臨床講師



## 万が一の事故で大けがを負った時、最後の砦となる存在

命に直結する重症外傷や、脊椎・四肢の外傷患者に、24時間体制で対応しています。救急医であり整形外傷を専門とする医師が4名在籍し、骨盤骨折や多発骨折といった機能予後※に直結する治療にも強みを発揮しています。救命後は手術、リハビリや地域医療機関とつなげ、社会復帰までトータルで支える体制を整えています。次世代の教育や研究にも注力しています。

※機能予後…身体機能がどの程度回復するか、あるいは後遺症が残るかどうかということ

救急外傷部門長  
神田 倫秀先生 講師

# 高次救命治療センターが もっとわかる 9 のこと



当センターの  
強みはこれだ！

救急・災害医局  
オリジナルキャラクター  
医局長くん

24時間  
365日体制

常に医療のプロフェッショナルがチームで在籍し、昼夜や休日を問わず命を守る体制が整っています。

緊急の  
受け入れに即応  
できる体制



互いに連携し合う  
5つの部門

5部門が高度な専門性を発揮しながら、連携して救命の現場を支えています。

県内20の  
消防本部と連携

搬送体制を地域全体で強化し、救急車やドクターヘリの受け入れを迅速化。



県内唯一の  
高度救命救急センター



県内に救命救急センターは8つあり、「高度救命救急センター」は特に高度な診療機能を有する施設として認定されたもの。県内の救命医療を支える拠点となっています。

東海地区最大級  
センター

134人体制

多職種の専門スタッフが多数在籍し、あらゆる重症例に迅速かつ柔軟に対応しています。



初療から退院まで  
独立型センター

救急外来での初期対応から手術、集中治療、さらに退院後を見据えた支援まで、一貫して担います。



ICUは患者2人につき  
看護師1人体制

重症患者さんにきめ細かなケアを届けるため、厳しい基準を満たした配置を実現。



専門医が支える  
チーム医療

専門医の数

救急医学会専門医 23名

集中治療医学会専門医 9名

初期対応からICUまで、手厚い体制が整っています。

岐阜県ドクターヘリ常駐

年間 約500件出動

基地病院として休日も運航しています。





岐阜大学医学部附属病院で働くさまざまなスタッフの仕事内容をご紹介します。



### 患者さんの「食」を支える専門職

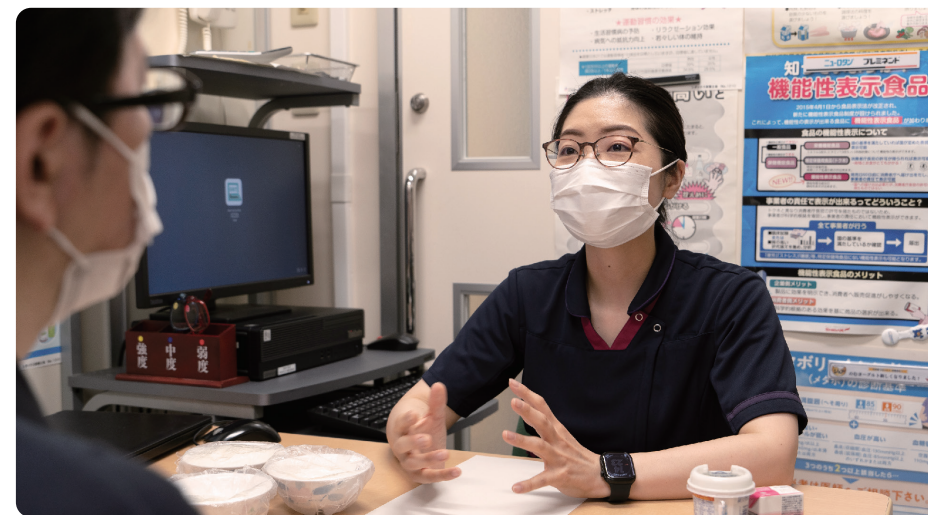
私は現在、岐阜大学医学部附属病院で管理栄養士として勤務しています。小さい頃から食べることやお菓子づくりが好きで、食に関する仕事を意識するようになりました。高校生のときに来ていた教育実習の先生と出会ったことも転機となり、医療職として、そして栄養のプロとして、誰かの人生を支えることができるこの道に進みました。

栄養管理室での仕事は多岐にわたりますが、主な業務は患者さん一人ひとりの病状や治療に合わせた栄養指導です。現在は消化器内科、血液・感染症内科を担当しており、肝疾患や化学療法中の栄養指導ではバランスの良い食事や食べられないときの食事の工夫など

についてお伝えしています。数字や栄養素だけにとらわれるのではなく、患者さんの生活背景や食習慣を丁寧にうかがいながら、その方に合った方法を提案することを心がけています。

### 食べる楽しみを守りながら、治療を支える

患者さんにとって「食べられない」ことは大きなストレスです。中には好物を我慢しなければならない方もいます。だからこそ「これは工夫すれば食べられる」「こうすれば楽しめる」という視点を持ち、できる限り前向き



▲患者さんとの栄養指導のようす。一人20～30分かけてじっくりとお話します。

に取り組める栄養指導を意識しています。患者さんとのコミュニケーションを通じて「食事が少し楽になった」「前より元気が出るようになった」と言っていた瞬間は、何よりうれしいです。食事は治療の一部でもあります。人生の楽しみの一つでもあります。その両方を大切にできるよう、日々の業務に取り組んでいます。

### チーム医療で、 栄養の専門性を発揮する

現在は緩和ケアチームの一員として、医師や看護師、薬剤師、ソーシャルワーカーなど多職種のスタッフと協働しています。患者さんの状態を正しく把握し、最適な栄養管理を行うためには、チーム内外の連携が欠かせません。カンファレンスにも参加し、医師からの情報や患者さんの声を共有する中で、栄養の視点から提案できるよう努めています。

チームで患者さんに関わっているからこそ、回復して退院される姿を見たときには「自分の関わりも、少しは役に立てたのかもしれない」と胸が熱くなります。もちろん私一人の力ではありませんが、まさに管理栄養士を志したときに叶えたかった「誰かを支える」ことが、チームの総力として実現できていると感じています。

### 学び続けることで、 未来の医療に貢献したい

管理栄養士の仕事は奥が深く、医療や栄養学の進

### 管理栄養士の仕事

- 栄養指導
- 栄養管理  
（栄養計画の作成や  
食事内容の調整など）
- チーム医療への参画  
（治療やケアに必要な  
栄養面の提案など）



歩に合わせて常に学び続けることが求められます。現在、私は病態栄養専門管理栄養士、日本糖尿病療養指導士を取得していますが、他にもさまざまな専門資格が存在します。栄養管理室の先輩方は、多様な分野で専門性を発揮しながら活躍されており、その姿は私にとって憧れであるとともに、大きな目標となっています。

また、これまで培ってきた経験を生かし、今後は地域全体の健康づくりにも貢献していきたいと考えています。病院の外に出ても、管理栄養士として発信できることは数多くあります。患者さんやご家族が安心して「食べる」ことを続けられるよう、努力を惜しまず歩みを進めていきたいと思います。

食事は命を支える力であり、同時に人生を豊かに彩るものです。その大切さを伝えながら、医療の現場で一人ひとりに寄り添える管理栄養士であり続けたいです。



▲栄養管理室のメンバー



# 管理栄養士の けんこう 食卓

岐阜大学医学部附属病院の管理栄養士が  
おすすめする栄養レシピをご紹介します。

今回の食材

## かぼちゃ

食卓を彩る  
大地の恵み



かぼちゃには、免疫力を高めるβ-カロテンとビタミンCが皮にも豊富に含まれるため無駄なく使いましょう。ビタミンCは熱に弱い栄養素ですが、かぼちゃの場合はでんぷんがビタミンCを覆うことで加熱しても失われにくいとされています。また、ビタミンCは豆類などに多い非ヘム鉄の吸収を促進するため、豆類と組み合わせると貧血予防に役立ちます。

皮ごとおいしく、栄養をまるごと！

## ゴロゴロかぼちゃと豆のドライカレー

管理栄養士  
辻 満帆さん

エネルギー  
523  
kcal  
(1人分)

### 材料(2人分)

|                  |                |
|------------------|----------------|
| かぼちゃ…1/8個(約200g) | にんにく…1/2かけ     |
| ミックスビーンズ…40g     | 水…大さじ2         |
| 合い挽き肉…100g       | カレー粉…大さじ1      |
| しいたけ…2枚          | ケチャップ…大さじ2     |
| 玉ねぎ…1/4個         | ウスターソース…大さじ1/2 |
| サラダ油…小さじ1        | 固形ブイヨン…小さじ2/3  |
| しょうが…10g         | 米飯…300g        |

### 作り方

- 1 かぼちゃは種とワタを取り除いて3cmの角切りに、しいたけは4等分にして軸を割く。玉ねぎは5mmの角切りに、しょうがとにんにくはみじん切りにする。
- 2 フライパンにサラダ油、玉ねぎ、しょうが、にんにくを入れて炒める。
- 3 玉ねぎが透き通ってきたら、合い挽き肉を加えて炒める。肉の色が変わったら、かぼちゃ、しいたけを加えてさらに炒める。
- 4 水、カレー粉、ケチャップ、ウスターソース、固形ブイヨンを入れて、味をととのえる。
- 5 蓋をして、弱火で15分煮込む。
- 6 かぼちゃがやわらかくなったら、ミックスビーンズを加え、水気をとばす。
- 7 皿に米飯を盛り付け、ドライカレーをのせる。

| 栄養成分<br>(1人分) | たんぱく質 | 脂質    | 炭水化物  | 食塩相当量 | β-カロテン | ビタミンC |
|---------------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
|               | 18.0g | 13.3g | 93.0g | 1.6g  | 3986μg | 47mg  |

## Recipe 2

### かぼちゃの お手軽キッシュ



かぼちゃの甘みと  
栄養がぎゅっと詰まった  
キッシュ

レシピは  
コチラから！

管理栄養士  
えだもと あやの  
枝本 彩乃さん



自宅で  
カンタン！

## 健康 体操

今回のテーマ

## 末梢神経由来の痺れに！神経滑走体操

末梢神経が原因の痺れは、悪化すると手足の動かしにくさにつながることがあります。神経をスムーズに動かす「神経滑走体操」を行うことで、痺れの予防や改善が期待できます。今回は、壁を使ってできる、小指の痺れに効く体操です。



\*痛みや痺れが出現、もしくは悪化することがあれば体操は中止し、医師や作業療法士に相談しましょう。

## Q&A コラム 〇〇って何？



教えてくれたのは  
おおい かずたか  
大井 一高先生 精神科 准教授

今回のギモンは…

## 冬季うつって何？

**A** 日照時間が短くなる頃に気分の落ち込みが強まり春に軽くなる、季節に伴って繰り返すうつ病です。

日照が減る時期は体内時計が乱れやすく、意欲や集中力の低下、だるさが続くことがあります。不眠や食欲不振、体重減少など通常のうつ症状のほか、人によっては過眠や過食、体重増加が見られる場合もあります。対策は、日中は室内を明るく保ち、朝の光を浴びること。午前中に屋外での散歩や軽い運動を行い、就寝・起床時刻を一定にすることなどです。つらさが続く、生活に支障がある場合は、光療法や薬物療法も選択肢となります。早めに医療機関へご相談ください。



岐阜大学大学院医学系研究科  
内科学講座 糖尿病・内分泌代謝内科学分野 教授

つねかわ しん  
**恒川 新**

2025年4月、教授に就任。

岐阜大学医学部附属病院糖尿病・内分泌代謝  
内科および大学院医学系研究科において、  
診療・研究・教育を通して、糖尿病と内分泌疾患の  
解明と新たな治療法の開発に取り組めます。

*Tsunekawa Shin*

## 糖尿病・肥満症治療の未来を拓き、 次世代を導く研究とチーム医療を。

私は岐阜大学を卒業後、国内外の大学病院で診療・研究・教育に携わり、糖尿病と肥満症の病態解明と治療法の開発に取り組んできました。専門は内分泌・代謝内科で、とりわけ膵β（ベータ）細胞の研究に注力してきました。肥満であっても糖尿病を発症しない人が存在するのは、膵β細胞が十分にインスリンを分泌できているためです。つまり、膵β細胞の量や機能を増強できれば、糖尿病の“根治”も夢ではないと考えています。現在は、膵β細胞を若返らせるリプログラミングや、細胞減少の原因解明、増殖因子の探索などの研究を進めています。「糖尿病は治らない病気」といわれますが、この可能性に光をあてて基礎と臨床をつなぐことで、新しい治療法の創出を目指しています。いつか患者さんに「治る」という希望を届けられるよう、挑戦を重ねていきます。

今年8月には、私がセンター長を務める「肥満症治療センター」が設立されました。糖尿病の根幹に関わる肥満症に対し、内科と外科、多職種が一体となって治療を行う体制を整えています。肥満は自己責任とみなされがちですが、医学的介入で改善できる「疾患」として社会に正しく理解してもらうことも重要です。肥満症の啓蒙活動にも一層力を入れ、一般の方々の理解を深めていただくこと、そして患者さんが安心して受診でき、治療にも前向きに取り組みやすい環境づくりを進めていきたいと考えています。

**担当** 糖尿病、内分泌代謝疾患、甲状腺疾患、肥満症

**専門医等** 日本内科学会総合内科専門医・指導医／日本糖尿病学会専門医・指導医／日本内分泌学会専門医・指導医／日本甲状腺学会専門医／内分泌代謝・糖尿病内科領域研修指導医



### PROFILE プロフィール

- 1997 ● 岐阜大学医学部卒業
- 2005 ● 名古屋大学大学院 医学系研究科修了
- 2007 ● 米国シカゴ大学医学部にて 研究に従事し、膵β細胞機能や 糖尿病病態の解明に取り組む
- 2017 ● 愛知医科大学准教授
- 2023 ● 同大学特任教授 国内外の研究者と連携し、 糖尿病の新規治療法開発に尽力
- 2025 ● 岐阜大学大学院医学系研究科・ 糖尿病・内分泌代謝内科学分野 教授就任



Gidaibyojin



Shin Tsunekawa



常に「わくわく」を大切にしています。実家の医院を継がずに大学病院を選んだのも、こちらの方が自分にとって「わくわく」すると思ったから。写真は赴任前に弾丸で訪れた北京の紫禁城で、大変「わくわく」しました。

## 肥満症治療センターを新設

岐阜大学医学部附属病院では、2025年8月に「肥満症治療センター」を新たに設置しました。当センターでは、食事療法、運動療法、行動療法に加えて内科治療と外科治療を連携させ、患者さん一人ひとりに合った最適な治療を提供します。

肥満と  
「肥満症」は  
違います

肥満症は  
治療対象の  
疾患です

### 肥満症とは？

肥満症は、単に体重が増えている状態〈肥満〉とは異なり、“肥満によって健康に悪影響を及ぼす病気がすでにある、または将来そのリスクが高く、医学的に体重を減らす必要がある状態”を指します。これには遺伝的要因、代謝異常、社会環境や心理的要因など多様な背景が複雑に関わるとされ、治療が必要な病気です。自己管理のみでは一時的に体重が減少しても、リバウンドを繰り返すケースも少なくありません。だからこそ、専門的な評価と継続的な支援が必要です。

### 肥満症治療の流れ

肥満症治療センターでは、内科・外科・多職種が連携した総合的な肥満治療を提供します。

#### 検査入院

併存疾患などを  
精査します



#### 内科治療 (6カ月の治療プログラム)

##### 栄養指導

管理栄養士による  
栄養指導や体組成のチェック

##### 服薬指導

薬剤師による内服薬の  
チェックや服薬指導

##### 運動療法

理学療法士による  
運動療法を指導

##### 認知行動療法

臨床心理士による心理面の  
専門的なチェックとカウンセリング

##### 在宅療養指導

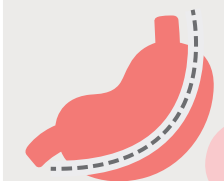
看護師による  
在宅療養指導のサポート

##### かかりつけ医と連携

医療ソーシャルワーカーに  
よる連携

#### 外科治療

減量・代謝改善手術  
(腹腔鏡下スリーブ状胃切除術)



胃を切除し、  
小さくします

手術適応の場合

術後は最長5年の  
フォローアップ

### 地域の肥満症治療を 支えます

センター長 恒川 新先生  
(糖尿病・内分泌代謝内科長)



肥満はしばしば「食べ過ぎ」「運動不足」といった個人の生活習慣の問題と捉えられ、スティグマ(差別、烙印)を伴うことがあります。しかし近年では、肥満や肥満症を単なる自己責任とする考え方は誤りであるとの認識が広がりつつあり、正しい理解と支援を促す啓発活動も増えてきました。肥満症治療センターでは、科学的根拠に基づいた最適な治療と継続的なサポートで、健康への一歩を力強く後押しします。

### チーム医療で 健康促進に貢献します！

副センター長 松橋 延壽先生  
(消化器外科長)



医師、管理栄養士、看護師、運動指導士など多職種が連携し、科学的根拠に基づいた包括的な肥満治療を行います。私も外科医としてチームの一員となり、生活習慣の改善支援に加え、必要に応じて、外科的治療を通じて患者さんの健康回復に貢献します。お悩みの方が安心して相談できる場として、地域の健康づくりに尽くしてまいります。



# 通院サポートアプリのご案内

HOPE LifeMark-コンシェルジュの主な機能

予約確認

予約前日  
の通知

オンライン  
決済

支払履歴  
の確認

電子カルテと連動！  
快適な通院生活を  
実現します



▼ アプリのダウンロードはこちら



初回登録には「個人識別用QRコード」が必要です。総合診療部にて発行いたしますので、お気軽にお問合せください。



## ご寄附のお願い

THANKS FOR THE DONATION



岐阜大学医学部附属病院では、教育・研究・医療の推進のため、寄附金を受け入れています。  
皆さまのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### お申し込み方法

「寄附金申込書」に必要事項をご記入の上、経営管理課管理係まで  
ご提出ください。お申し込みいただいた方に、振込依頼書をお送り  
しますので、全国の金融機関の窓口よりお振込みをお願い致します。

※振込手数料は当院が負担します。

寄附金申込書  
ダウンロード



お問合せ

岐阜大学医学部附属病院 経営管理課管理係

☎ 058-230-6011

✉ [hpkannri@t.gifu-u.ac.jp](mailto:hpkannri@t.gifu-u.ac.jp)

ご不明な点はお気軽  
にお問合せください。

### 読者アンケートご協力をお願い

よりよい誌面作成のため、ぜひ皆さまの声をお聞かせください。アンケートは巻末のハガキまたは右下のQRコードからでもご回答いただけます。今回は回答いただいた皆さまの中から、抽選で10名様に岐阜大学オリジナルカレンダー(2026年版)を進呈いたします。



プレゼント応募締切

令和7年12月15日(月) 必着

※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

スマホから  
回答する



「うぶね」バックナンバーは病院ホームページで公開中です▶

<https://www.hosp.gifu-u.ac.jp/guide/ubune.html>

岐大病院 うぶね

